

〔 特 集 〕

家で子どもを“みる” ～ホームケアのすゝめ、けが・その他編～



今号の特集はホームケアのすゝめ第2弾です。29巻2号は病気についてでしたが、今回は、ケガや熱中症などの対応を取り上げています。これから気温も上がって、子どもの活動も活発になると、けがや熱中症、虫刺されなどが増えます。出かけることも多く、近くに病院がない場合もあるかもしれません。悪化させないためにも受診前のホームケアは大切です。

そこで今回は、保育者や医療者が知っておくべき内容として、比較的遭遇しやすい頭部打撲や捻挫・骨折、異物誤飲、気道異物、虫刺され、熱中症の初期対応の紹介のほか、創傷処置や熱傷のケアのアップデートなど、エビデンスを踏まえた内容でまとめ直しました。

これまで当たり前だと思っていた処置を見直すきっかけになればと思います。盲点となりやすい歯のケガの処置、目のけがへの対応も含めています。さらに、これらのけがなどを踏まえて、自宅での備えとして救急セットの見直しにも触れました。保護者に情報提供するための参考となる特集になれば幸いです。

(佐久総合病院佐久医療センター小児科／坂本昌彦)

